令和８年度事業計画

社会福祉法人

山口県社会福祉事業団

目　　次

頁

Ⅰ　第四次中期経営計画の実現に向けて

◎　利用者の立場に立った「選ばれる施設づくり」 …… 1

◎　地域から信頼される「地域とともに歩む施設づくり」 …… 2

◎　自立的経営を目指す「経営の基盤づくり」 …… 2

Ⅱ　各施設拠点の取組

選ばれる施設づくり

1　サービスの質の向上 …… 3
（1）医療的ケアの提供体制の確保・充実 …… 3
（2）利用者の意思決定の尊重 …… 3
（3）高い専門性を確保したサービスの提供 …… 3
（4）虐待の防止 …… 4
（5）感染症予防の徹底 …… 4
（6）事故の未然防止 …… 4

2　運営に係る透明性の確保 …… 4
（1）情報の公表 …… 4
（2）施設サービスへの理解促進 …… 4

3　各施設拠点における重点的取組 …… 5

［灘海園］ …… 5

［伊保庄園］ …… 5

［オアシスはぎ園］ …… 6

［たちばな園］ …… 6

［華南園］ …… 7

［華の浦（はなのうらを含む）］ …… 7

［このみ園］ …… 8

［山口県みほり学園］ …… 8

［山口県児童センター］ …… 9

［ゆ～あいプラザ山口県社会福祉会館］ …… 9

地域とともに歩む施設づくり

１　地域社会への貢献 …… １０
（１）公益的な取組の実施 …… １０
（２）セーフティネット機能の発揮 …… １１
（３）福祉人財の活用 …… １１

２　交流機会の確保 …… １１

Ⅲ　法人・事務局の取組

経営の基盤づくり

１　法人組織のガバナンス強化 …… １２

２　人財の確保・育成・定着 …… １２
（１）人財の確保 …… １２
ア　多様な人財の確保
イ　実習生やインターンシップの積極的な受入れ
（２）人財の育成 …… １２
ア　資格取得の促進
イ　体系的かつ専門的な研修機会の確保
（３）人財の定着 …… １３
ア　ハラスメントの防止及びメンタルヘルス対策の強化
イ　ＩＣＴ機器や福祉機器等の導入
ウ　新人職員へのサポート体制の充実
エ　「小集団活動」の推進による職場環境の改善

３　安心安全な施設環境の整備に向けた財源の確保 …… １３
（１）施設設備の整備 …… １４
（２）収益の確保 …… １４
（３）利用者の確保 …… １４
（４）施設機能の維持 …… １４

◆　各施設拠点における事業ごとの稼働率等の目標 …… １５

Ⅰ　第四次中期経営計画の実現に向けて

介護職員等の不足、諸物価の高騰、様々な感染症への対応など、施設経営を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあり、とりわけ、人材の確保は喫緊の課題となっています。このような状況を踏まえ、国は介護職員等の給与改善を図るため、令和９年度に予定されている介護報酬の改定を１年前倒しし、令和８年度に介護と障害福祉の事業者向けの報酬をそれぞれ臨時で 2.03%、1.84%引き上げる臨時改定を行うこととしました。

さて、山口県においては、高齢者人口は令和２年の 46.5 万人をピークに穏やかな減少に転じているものの、年少人口や生産年齢人口の減少が大きいことから、高齢化率は引き続き上昇し、令和２２年（2040 年）には 40.0%まで上昇することが予測されています。また、要支援・要介護認定者数も、平成 12 年の介護保険制度開始時に比べ２倍以上に増加、令和７年３月時点では約８万９千人となっており、令和８年度には９万１千人超に増加する見込みとされています。

県では、こうした高齢者を取り巻く現状と将来推計を踏まえ、「第八次やまぐち高齢者プラン」（Ｒ６～Ｒ８）を策定し、その施策の具体的な展開の柱のひとつである「人材の確保及び介護現場の生産性の向上の推進」において、「福祉・介護人材の養成と確保、資質の向上」「労働環境・処遇の改善」「業務の効率化と質の向上」の取組を推進しています。

一方、障害者施策についても、「やまぐち障害者いきいきプラン」（Ｒ６～Ｒ11）及び「山口県障害福祉サービス実施計画」（Ｒ６～Ｒ８）を策定し、様々な取組を推進しています。

また、指定管理施設である「山口県みほり学園」については、2029 年度（令和 11 年度）中の供用開始を目指し、着実に整備が進んでいます。

このような中、当事業団においては、経営の行動指針である「第四次中期経営計画」（2024～2028）の最終目標の達成に向けた取組を進めています。

特に、施設整備において、伊保庄園については、昨年７月２９日に発足した「特別養護老人ホーム伊保庄園改築計画等検討委員会」を中心に、建替えに向け着実に取り組んでまいります。

令和８年度は「第四次中期経営計画」の中間年に当たり、後半に向けてはずみをつける重要な年度になると考えています。

“その人らしさを大切に～みんなの笑顔のために～”の基本理念のもと、**「選ばれる施設づくり」「地域とともに歩む施設づくり」「経営の基盤づくり」**の基本目標に沿って、以下の取組を柱に策定した事業計画の着実な前進を目指して全職員で取り組んでまいります。

◎　利用者の立場に立った「選ばれる施設づくり」

選ばれる施設づくりに向けて、基本理念を念頭に置き、利用者のニーズに沿った安心・安全な福祉サービスを提供するとともに、透明性の高い法人運営を進めていきます。

○　サービスの質の向上

多様化する利用者のニーズに沿ったサービスの質の確保に向けた、利用者の意思を尊重した専門性の高いサービスの提供体制づくり

○　運営に係る透明性の確保

透明性の確保に向けた法人及び施設運営に係る情報の積極的な公表や家族等との交流機会の確保

○　各施設拠点における重点的取組

『選ばれる施設づくり』に向けて各拠点施設が定めた重点的取組の実践

◎　地域から信頼される「地域とともに歩む施設づくり」

地域共生社会の実現に資するため、高い公益性をもって、積極的に地域への貢献活動に取り組みます。

○　地域社会への貢献

公益的な取組の実施、緊急避難場所としてのセーフティネット機能の発揮及び福祉人材としての職員の技術、知識等の地元への還元

○　交流機会の確保

地域住民等の活躍の場の提供及び相互交流機会の拡大に向けた地域への施設機能の積極的な開放等

◎　自立的経営を目指す「経営の基盤づくり」

法人組織のガバナンスの強化を進めるとともに、施設設備の充実及び人財の確保・育成・定着を着実に進めるための財源を確保し、安定的で持続的発展を可能にするバランスの取れた経営基盤を確立します。

○　法人組織のガバナンス強化

法人の基本理念の実現に向けた内部管理体制の基本方針に基づく規程等の整備や研修等の実施による役職員の意識の醸成と定着を推進する組織体制の確立

○　人財の確保・育成・定着

優秀な人財の安定的な確保に向けた積極的な情報発信及び広報活動の充実、雇用後の育成・定着を進めるための環境整備

○　安心安全な施設環境の整備に向けた財源の確保

築４０年以上経過し、老朽化した施設の改築費用に充てるための計画的な財源確保

Ⅱ　各施設拠点の取組

選ばれる施設づくり

1　サービスの質の向上

（1） 医療的ケアの提供体制の確保・充実

利用者の状態に応じた医療的ケアの提供体制の確保・充実

具体的取組	認定特定行為業務従事者研修修了者の増
今年度の目標	灘海園２人、伊保庄園１人、オアシスはぎ園１人、 華南園１人、華の浦１人以上

（2） 利用者の意思決定の尊重

利用者の意思を尊重したサービスの提供

具体的取組	意思決定支援会議の開催
今年度の目標	随時（関係施設拠点）

具体的取組	意思決定支援ガイドラインに沿った対応
今年度の目標	常時（関係施設拠点）

（3） 高い専門性を確保したサービスの提供

支援体制の強化に向けた研修機会の確保

【高齢者】

具体的取組	認知症介護実践者研修の受講
今年度の目標	灘海園１人、伊保庄園１人、オアシスはぎ園１人

具体的取組	認知症介護実践リーダー研修の受講
今年度の目標	灘海園１人、オアシスはぎ園１人

具体的取組	認知症介護指導者養成研修の受講
今年度の目標	１人／５年（中期経営計画期間中）

【障害児・者】

具体的取組	強度行動障害支援者養成研修（基礎）の受講
今年度の目標	たちばな園１人以上、華南園２人、華の浦１人以上 このみ園２人

具体的取組	強度行動障害支援者養成研修（実践）の受講
今年度の目標	たちばな園１人以上、華南園２人、華の浦１人以上 このみ園２人

（4） 虐待の防止

虐待行為及び不適切な支援の防止

具体的取組	職員への虐待防止セルフチェックを実施
今年度の目標	１回（関係施設拠点）

（5） 感染症予防の徹底

日常的な感染症の予防対策の徹底及び有事に対応できる体制等の整備

具体的取組	スタンダードプリコーションの徹底
今年度の目標	常時（各施設拠点）

具体的取組	ＢＣＰ及び対応マニュアルに基づく体制等の整備
今年度の目標	随時改正及び体制整備（各施設拠点）

（6） 事故の未然防止

日常的なヒヤリハット及び事故報告事例の要因分析に基づく対応

具体的取組	リスクマネジメント委員会の実施
今年度の目標	定期及び緊急時（各施設拠点）

２　運営に係る透明性の確保

（1） 情報の公表

運営や施設サービスに関する情報及び評価結果等の積極的な公表

具体的取組	ホームページ等を活用した積極的な情報の発信
今年度の目標	随時（各施設拠点）

（2） 施設サービスへの理解促進

交流機会の積極的な提供

具体的取組	感染症等のリスクを考慮した面会の実施
今年度の目標	随時（関係施設拠点）

具体的取組	家族会等による交流機会の確保
今年度の目標	１回以上（関係施設拠点）

３　各施設拠点における重点的取組

＜高齢者施設＞

［灘海園］

・介護老人福祉施設（定員 100 人）
・短期入所生活介護（定員 20 人）
・地域密着型通所介護（定員 18 人）
・居宅介護支援

中期経営計画で目指すべき方向		医療的ケアを必要とする利用者の受入体制を整備・充実し、質の高いサービスを提供します。
取 組 事 項 ①		医療的ケア体制の確保
	目 標 項 目	認定特定行為業務従事者研修の計画受講
	今年度の目標	２人
取 組 事 項 ②		園内体制の再構築（委員会・マニュアル等の整備）
	目 標 項 目	受入体制の整備
	今年度の目標	看護師（指導者研修修了者）による施設内フォローアップ研修の実施

［伊保庄園］

・介護老人福祉施設（定員 100 人）
・短期入所生活介護（定員 14 人）

中期経営計画で目指すべき方向		医療的ケア体制を充実し、質の高いサービスを提供します。
取 組 事 項 ①		医療的ケア体制の確保・充実
	目 標 項 目	認定特定行為業務従事者研修の計画受講
	今年度の目標	１人
取 組 事 項 ②		フォローアップ研修等の実施
	目 標 項 目	内部研修の充実
	今年度の目標	２回

[オアシスはぎ園]

・介護老人福祉施設（定員 100 人）
・短期入所生活介護（定員 16 人）
・通所介護（定員 30 人）
・グループホーム（定員 18 人）
・居宅介護支援、在宅介護支援

中期経営計画で目指すべき方向	外出支援を通して、利用者・職員・家族・地域の人の笑顔を引き出します。
取組事項①	外出支援の充実 ・家族参加も含めた個別のニーズに応じた外出支援 ・グループのニーズに応じた外出支援（利用者・職員等）
目標項目	個別外出及びグループ外出支援の充実
今年度の目標	22 回
取組事項②	ホームページ及び広報紙を活用した活動内容の情報発信
目標項目	活動情報の発信
今年度の目標	6 回

＜障害者・児施設＞

[たちばな園]

・施設入所支援（定員 50 人）
・生活介護（定員 50 人）
・短期入所（空床型）
・特定相談支援、障害児相談支援、一般相談支援

中期経営計画で目指すべき方向	利用者の高齢化及び障害の多様化に対応できる専門性の高いサービス提供体制を充実します。
取組事項①	強度行動障害等のある利用者への適切な支援方法の獲得及び実践
目標項目	強度行動障害支援者養成研修の計画受講 先進的施設見学及び実習
今年度の目標	研修受講 1 人以上
取組事項②	利用者の重度高齢化等に応じたハード及びソフト面の充実
目標項目	日中活動の見直し 介護機器等の導入・整備
今年度の目標	検討
取組事項③	成年後見人制度活用の啓発
目標項目	家族等への制度説明
今年度の目標	随時

[華南園]

・施設入所支援（定員 50 人）
・生活介護（定員 50 人）
・短期入所（定員 4 人）

中期経営計画で目指すべき方向	利用者の日中活動を充実させるとともに、利用者の高齢化や多様な障害特性に対応できる専門性の高いサービスを充実します。
取 組 事 項 ①	自己決定による外出支援の充実
目 標 項 目	外出支援の実施
今年度の目標	１人：２回／年（夢の日を含む）
取 組 事 項 ②	利用者の機能低下や多様な障害特性に応じた専門的なケアによるサービス体制の確保・充実
目 標 項 目	強度行動障害支援者養成研修の計画受講 認定特定行為業務従事者の一定数確保
今年度の目標	強度行動障害支援者養成研修受講２人 認定特定行為業務従事者研修受講１人（常時８人以上の確保）

[華の浦（はなのうらを含む）]

＜華の浦＞
・施設入所支援（定員 34 人）
・生活介護（定員 34 人）
・短期入所（定員 4 人）
・特定相談支援、障害児相談支援

＜はなのうら＞
・福祉型障害児入所（定員 16 人）
・短期入所（空床型）
・放課後等デイサービス（定員 10 人）

中期経営計画で目指すべき方向	利用者・児が主役になれるよう、毎日の暮らしを楽しいと感じる活動を提供するとともに、医療を必要とする利用者・児への専門性の高いサービスを提供します。
取 組 事 項 ①	利用者・児の意思や要望を重視したサービスの提供
目 標 項 目	意思決定支援会議の開催 にじの会の開催 夢プラン（個別外出）の実施
今年度の目標	意思決定支援会議の開催　２回 華会・にじの会の開催（１回／月） 夢プラン・にじプラン（個別外出）の実施（１人：２回）
取 組 事 項 ②	医療的ケア体制の充実
目 標 項 目	認定特定行為業務従事者の一定数確保
今年度の目標	認定特定行為業務従事者研修受講１人以上（常時９人以上の確保）

［このみ園］

・福祉型障害児入所（定員 40 人）
・短期入所（定員 5 人）
・放課後等デイサービス（定員 10 人）
・日中一時支援（定員 10 人）

中期経営計画で目指すべき方向	県内唯一の単独福祉型障害児入所施設として、多様なニーズを積極的に受け入れ、定員 40 人満床の継続を目指すとともに、令和 6 年度より施行される移行調整の新たな枠組みについて、関係機関と積極的に連携をとり、利用児の適切な移行につながる支援体制を確立します。
取組事項①	様々なニーズを持つ障害児の積極的受入れ
目標項目	定員 40 人満床の継続
今年度の目標	関係機関との連携による入所ニーズの掘り起こし
取組事項②	円滑な移行調整に向けた支援体制の確立
目標項目	行政主導の新たな移行調整の枠組みへの積極的参加
今年度の目標	県との「協議の場」を通した、移行困難児童に関する「個別ケース会議」の開催要請と継続的な実施

＜児童心理治療施設施設＞

［山口県みほり学園 ］※県指定管理

・施設入所（定員 50 人）

中期経営計画で目指すべき方向	施設全体が「治療の場」となるよう、「総合環境療法」を実施し、児童の心のケアと社会適応能力の向上を図ることで、親子関係の再構築（家族再統合）を推進するとともに、施設機能を活かし地域のニーズにも対応します。
取組事項①	トラウマケアや発達障害等に係る知識や訓練技法を高めた専門的な支援による児童の社会適応能力の向上
目標項目	定期的な専門研修への参加 園内研修の充実 訓練の評価と展開
今年度の目標	家族再統合（2 人）
取組事項②	退所後の生活に円滑に移行するための社会的自立に向けた支援
目標項目	マニュアルの整備と計画実施
今年度の目標	計画実施
取組事項③	施設機能を活かした、地域ニーズへの対応
目標項目	外来相談の実施
今年度の目標	５件／年

＜児童厚生施設＞

［山口県児童センター］

・プラネタリウム
・大、小ホール
・遊戯室、図書室　等

中期経営計画で目指すべき方向	こどもの居場所（サードプレイス）として、全てのこどもが集えるよう、児童センター機能を充実します。
取 組 事 項 ①	年齢層に応じたニーズ把握と行事の見直しによる利用促進
目 標 項 目	年長児童の利用促進
今年度の目標	ニーズ把握及び中高校生や大学生等から聴取した意見の取りまとめ
取 組 事 項 ②	地域と共に進める子育て支援
目 標 項 目	関係機関との連携及びボランティアの育成
今年度の目標	随時
取 組 事 項 ③	児童厚生員の専門性の向上
目 標 項 目	児童厚生員一級及び二級指導員資格の取得
今年度の目標	地方分散型児童厚生員等基礎研修４人受講 （中期経営計画期間中に全ての児童厚生員が取得）

＜その他＞

［ゆ～あいプラザ山口県社会福祉会館］

・福祉関係団体への事務室の提供
・会議室等の貸出

中期経営計画で目指すべき方向	会議室の利用ニーズに応じた利便性を高めることで、選ばれる施設づくりを目指します。
取 組 事 項 ①	ホームページ及び会議室予約システムの再構築
目 標 項 目	会議室利用回数の増
今年度の目標	５５０回／年
取 組 事 項 ②	会議室のＷｅｂ環境の整備
目 標 項 目	Ｗｅｂ環境の整備
今年度の目標	適切な維持管理（令和７年度整備済）

地域とともに歩む施設づくり

1　地域社会への貢献

（1） 公益的な取組の実施

地域の福祉ニーズに応じた公益的な取組の実施

施設拠点	取　組　名
灘海園	・生活困窮者のための就労訓練事業 ・岩国市社会福祉法人地域公益活動推進協議会活動
伊保庄園	・地域安心ネットワークの強化に向け、地域住民や隣接施設及び関係者が協同し、高齢者に対する理解の普及啓発を図る。 １　「認知症サポーター養成講座」（柳井市主催）柳井市キャラバンメイト ２　阿月地区いきいきサロン講師　（3回）
オアシスはぎ園	・地域の学校（小・中・高校等）への出前講座（各学校1回程度） ・はぎ園の昼食にご招待（越ケ浜地区住民：3回） ・管理栄養士による大井地区「おーい元気かい」昼食メニューの提供（2回）
たちばな園	・独居高齢者及び障害者への配食サービス（月１回 10 世帯）及び安否確認（年4回）
華南園	・近隣の高齢者や障害者への配食サービス（月１回 10 人） ・民生委員・児童委員などを対象とした家庭介護講習会の開催（4 回）
華の浦	・民生委員を対象とした介護教室の開催
このみ園	・地域における障害児を持つ保護者を対象とした「発達支援セミナー」の開催（3回）
山口県 みほり学園	・退所児のアフターフォロー ・外来相談事業（県内在住の小中学生及びその保護者を対象に実施）
山口県 児童センター	・子育て中の者を対象とした 保健師による育児相談事業 栄養士による食育相談事業

（2） セーフティネット機能の発揮

地域の緊急避難場所としての受け入れ体制の整備

具体的取組	関係機関との連携強化
今年度の目標	随時（各施設拠点）

具体的取組	受入体制及びマニュアル等の整備
今年度の目標	改正等必要時（各施設拠点）

（3） 福祉人財の活用

職員が持つ技術や知識、経験等の地域への還元

具体的取組	福祉人財を活用した地域活動への参画
今年度の目標	随時（各施設拠点）

2 交流機会の確保

地域への施設機能の積極的な開放等

具体的取組	地域への施設の開放
今年度の目標	随時（各施設拠点）

具体的取組	ボランティア団体等の受入れ
今年度の目標	随時（各施設拠点）

具体的取組	地域活動への積極参加
今年度の目標	随時（各施設拠点）

Ⅲ　法人・事務局の取組

経営の基盤づくり

１　法人組織のガバナンス強化

規程等の整備や研修等の実施

具体的取組	経営会議の実施
今年度の目標	６回／年

具体的取組	コンプライアンス研修の実施
今年度の目標	本部研修２回、施設研修１回

２　人財の確保・育成・定着

（１）人財の確保

ア　多様な人財の確保

具体的取組	各種教育機関等との連携強化、ＳＮＳ等を活用したＰＲ活動の推進、高齢者・障害者等の雇用促進、職員紹介制度の活用
今年度の目標	随時

イ　実習生やインターンシップの積極的な受入れ

具体的取組	各教育機関との連携強化
今年度の目標	随時

（２）人財の育成

ア　資格取得の促進

具体的取組	事業実施に必要な有資格者の継続確保
今年度の目標	実態把握及び確認

具体的行動	資格取得助成制度の活用
今年度の目標	１０件

イ　体系的かつ専門的な研修機会の確保

具体的取組	階層別研修の実施
今年度の目標	各階層：１回

具体的取組	特別研修の実施
今年度の目標	実施予定なし（２年に１回）

具体的取組	セミナー研修の実施
今年度の目標	発表（オアシスはぎ園・華の浦・児童センター）

具体的取組	出前研修の実施
今年度の目標	９回

具体的取組	外部研修への積極的な参加
今年度の目標	随時

（３）人財の定着

ア　ハラスメントの防止及びメンタルヘルス対策の強化

具体的取組	ハラスメント研修の実施
今年度の目標	本部研修・施設研修：各１回以上／年

具体的取組	全職員へのハラスメントに係る調査の実施と公表
今年度の目標	全施設を訪問の上、調査結果等を報告

具体的取組	相談窓口の設置整備と相談事業の実施
今年度の目標	常時

イ　ＩＣＴ機器や福祉機器等の導入等

具体的取組	ＩＣＴ機器や福祉機器等の導入による労務環境の改善
今年度の目標	随時

ウ　新人職員へのサポート体制の充実

具体的取組	訪問面談の実施
今年度の目標	１人：３回

エ　「小集団活動」の推進による職場環境の改善

具体的取組	小集団活動の推進
今年度の目標	制度の周知

３　安心安全な施設環境の整備に向けた財源の確保

（１）施設設備の整備

伊保庄園の移転改築の推進

具体的取組	改築等検討委員会及びワーキングチームの設置
今年度の目標	基本設計等の検討・調整（「改築計画等検討委員会」設置済）

（２）収益の確保

施設整備等積立金の積立

具体的取組	稼働率の向上と加算の取得等による収益の確保
今年度の目標	130,000 千円以上の積立

（３）利用者の確保

各施設拠点における空床期間の短縮の取組及び稼働率の継続的な確保

具体的取組	関係機関との連携、在宅事業の受入れ、内部体制の強化
今年度の目標	主要事業の年間稼働率 （介護：90～93%・障害：８０～９５%）以上の確保

（４）施設機能の維持

改修及び設備の更新

具体的取組	施設設備の更新計画の作成、更新
今年度の目標	・特殊浴槽（灘海園・華南園） ・電動ベッド（灘海園・オアシスはぎ園・華南園） ・食器洗浄機（灘海園・たちばな園） ・福祉車両（伊保庄園・華の浦） ・エアコン（伊保庄園＜居室＞・オアシスはぎ園＜1 棟＞） ・シャワーキャリー（オアシスはぎ園） ・フードプロセッサー（オアシスはぎ園＜厨房＞） ・業務用 IH 炊飯器（オアシスはぎ園＜厨房＞） ・食器消毒保管庫（オアシスはぎ園＜DS 厨房＞） ・洗面台温水器（オアシスはぎ園＜GH＞） ・防犯カメラ（たちばな園＜園外＞） ・見守りカメラ（たちばな園＜男子棟＞・このみ園＜園内＞ 児童センター＜工作室＞） ・業務用冷蔵庫（華南園＜厨房＞） ・給湯器（このみ園） ・温蔵庫（このみ園） ・トイレ（児童センター・社会福祉会館）

具体的取組	国、県の補助制度及び民間補助金の活用
今年度の目標	随時

◆　各施設拠点における事業ごとの稼働率等の目標

施設拠点名	事業区分	今年度の目標数値	備　考
灘 海 園	介護老人福祉施設	９３％	稼 働 率
	短期入所生活介護	８５％	
	通所介護（地域密着）	８５％	
	居宅介護支援	９５人	月平均利用者数
伊保庄園	介護老人福祉施設	９０％	稼 働 率
	短期入所生活介護	４０％	
オアシス は ぎ 園	介護老人福祉施設	９３％	稼 働 率
	短期入所生活介護	６５％	
	通所介護	６４％	
	グループホーム	９８％	
	居宅介護支援	９４人	月平均利用者数
たちばな園	施設入所支援	９０％	稼 働 率
	生活介護	８５％	
	短期入所（空床型）	４２ 人	月平均利用者数
	相談支援	３８ 件	月平均計画作成・モニタリング数
華 南 園	施設入所支援	９５％	稼 働 率
	生活介護	９５％	
	短期入所	３０％	
華 の 浦 （はなのうら）	施設入所支援	９５％	稼 働 率
	生活介護	９５％	
	短期入所	３０％	
	相談支援	３６件	月平均計画作成・モニタリング数
	障害児施設入所	８０％	稼 働 率
	放課後等デイサービス	９２％	
このみ園	障害児施設入所	９５％	稼 働 率
	短期入所	１４％	
	放課後等デイサービス	９５％	
山口県 児童センター	プラネタリウム	20,000 人	年間利用者数